

2023.3.10

**G7**  
仙台

G7 Science Ministers' Meeting, Sendai, May 12-14, 2023  
科学技術大臣会合  
2023年5月12日(金)→14日(日)



仙台市  
City of Sendai



# 杜の都宇宙塾

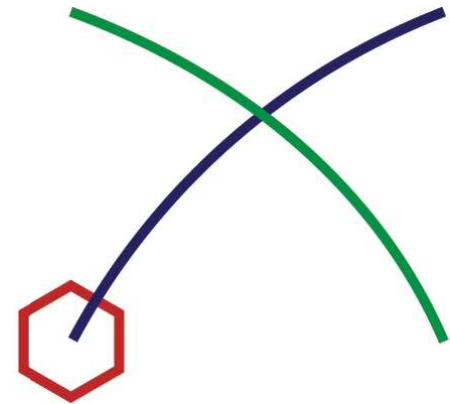
## 活動報告

ユースチャレンジ！コラボプロジェクト  
G7仙台科学技術大臣会合開催機運の醸成につながる事業の提案



Tahaku Space Community

東北を  
宇宙で  
ワクワクさせる



Tahaku Space Community

## 0. 解決する学都仙台の課題

最先端の科学技術に  
触れる機会が少ない

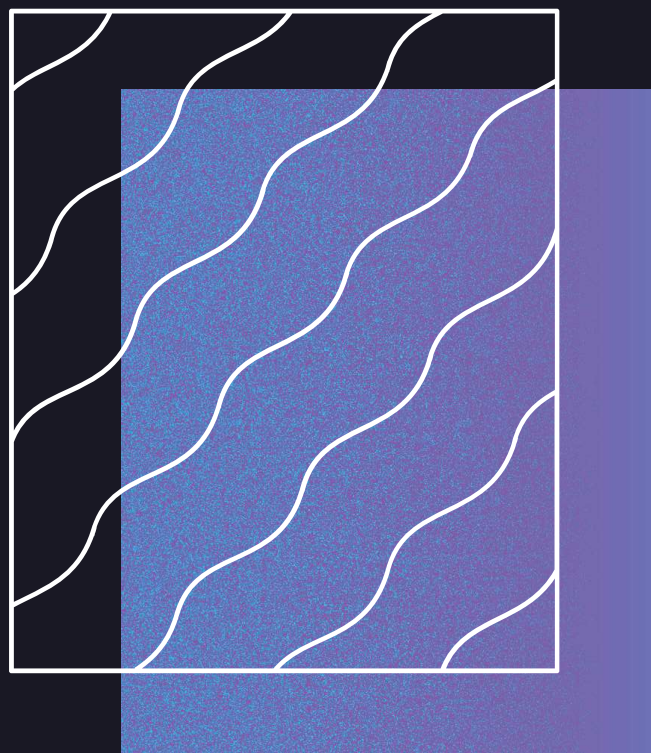
経済的な問題等から、  
教育分野の選択の自由度  
に格差が生まれている

# 1. 目的



宇宙理学・工学で  
勉強にワクワクを

## 2. 効果



1. 科学技術に関連する潜在的な人材育成

2. 学問分野選択の自由度が高い都市としての成長

### 3.事業コンセプト -ワクワクの大三角-



気づき



体感



遊び

# 4.事業内容

**3月21日**  
(火・祝)

## 杜の都 宇宙塾

参加費無料  
事前申込が必要です

対象：仙台市内の小学生  
(4~6年生向けのプログラムです)

工作・講義  
「宇宙ではたらく探査機をつくらう！」  
12:30-14:30  
定員：20名程度

星の一生 巨大さごらく  
「星の一生をめぐる」  
15:00-16:30  
定員：30名程度

星空観望会  
「星をみる会」  
ベガ号とともに  
18:00-  
場所 榴岡公園  
※保護者の方と一緒に参加ください

主催 Tahaku Space Community  
共催 仙台市 City of Sendai  
G7仙台 科学技術大臣会合開催機運の醸成につなげる事業

主催  
Tahaku Space Community

～東北を宇宙でワクワクさせる～  
東北に住む「宇宙好き」の大学生中心の団体です。  
小学生対象の科学イベントや、一般向けの宇宙トークイベントなど、幅広く活動中です！

3つのワークショップのほかに…  
大学サークルによる、ロケットやロボット、宇宙エレベーターの展示??  
仙台市天文同好会さんの星空写真も！  
※要参加申込 定員：20名程度/1h

参加申込はこちらから！

<b>定員</b> 先着順です ※プログラムごとに定員が異なります。詳しくは、おもて面をご覧ください	<b>アクセス</b> 徒歩または、公共交通機関をご利用ください JR仙石線 榴岡駅 地下鉄東西線 榴岡野通駅	<b>G7仙台公式サイト</b> 	<b>主催団体HP</b> 
--	--	--	---

仙台市 ユースチャレンジ！コラボプロジェクト採択事業  
(G7仙台科学技術大臣会合開催機運の醸成につなげる事業)

共催・協力団体  
共催： 仙台市  
協力： 仙台市天文台  
東北大学 ロケットサークル From The Earth  
東北大学 天文学専攻 田中龍臣 准教授  
仙台天文同好会  
東北大学 宇宙エレベーターサークル SELECT  
株式会社ワイルドテック

お問い合わせ：tsc.tohoku@gmail.com

日時：  
3月21日 | 12:30～

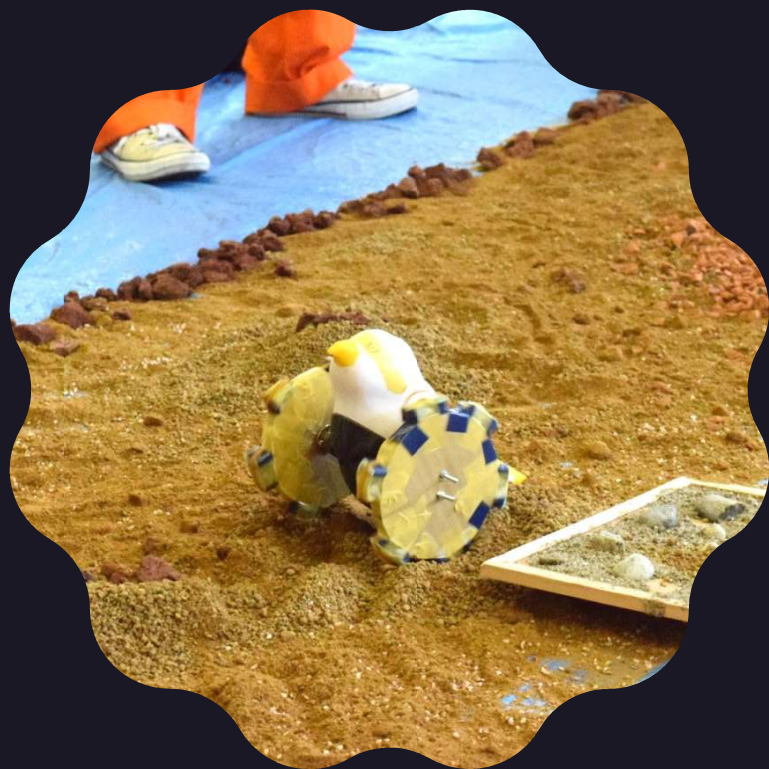
場所：  
榴ヶ岡市民センター/榴岡公園

内容：  
小学生に向けて宇宙工学と宇宙物理学に関する教育的コンテンツを提供する

延べ参加人数：  
約180名 (保護者の方を含む)

## 5.成果発表

プログラム | 「宇宙ではたらく探査機を作ろう」



~杜の都宇宙塾~  
3/21 12:30~14:30

宇宙ではたらく  
探査機を作ろう

主催 : Tohoku Space Community  
共催 : From The Earth



## 5.成果発表

### プログラム | 「宇宙ではたらく探査機を作ろう」

参加人数：  
約20名

成果：  
参加者の方々に、実際に手を動かして失敗を繰り返すことで学びを得るという経験や、グループワークを通して仲間と協力しミッションを達成するという経験を提供できた。



## 5.成果発表

### プログラム2 「星の一生をめぐるって」



## 5.成果発表

### プログラム2 「星の一生をめぐるって」

参加人数：  
約30名

成果：  
参加者の方々にとっては難しい科学の内容だったが、インタラクティブな講義とすごろくを使った能動的な学びにより、置いていかれることなく天文学を学ぶことができた。



## 5.成果発表

### プログラム3 「星を見る会」



~杜の都宇宙塾~  
3/21 18:00~

# 星をみる会

ベガ号とともに

主催：Tohoku Space Community

A promotional poster for a stargazing event. The background is a dark starry sky. It features a yellow star with a rainbow tail in the top left, a large orange planet (Jupiter) in the top right, and a blue planet (Venus) in the bottom left. The text is in white and yellow. At the bottom right, there is a logo for '杜の都宇宙塾' (Tohoku Space Community) and an illustration of a telescope.

## 5.成果発表

### プログラム3 「星を見る会」

参加人数：  
約50名以上

成果：  
参加者の方々に順番に望遠鏡をのぞいてもらい、金星やベテルギウス、オリオン大星雲などの観察する経験を提供できた。



## 5. 連携先（敬称略）

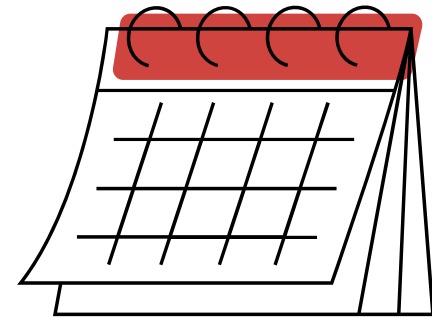
- 東北大 理学研究科 天文学専攻 田中雅臣 准教授  
(理学系ワークショップ・講演)
- 仙台市天文台 ベガ号  
(天体観望会)
- 仙台天文同好会  
(展示)
- 東北大ロケットサークルF.T.E. & 株式会社ウイルテック  
(工学系ワークショップ・講演)

## 5. 今後の展開



### 1. パッケージ化

## 2. 開催の継続



## 5. 今後の展開

### 1. パッケージ化

4つのコンテンツ

- 宇宙ではたらく探査機を作ろう
- 星の一生をめぐって
- 星を見る会
- 常設展示



それぞれのコンテンツを別の場所  
で展開できるよう**パッケージ化**



## 5. 今後の展開

### 2.開催の継続

#### 1.仙台市での継続した開催

コンテンツをパッケージ化することで効率の良い企画運営を行い開催頻度を向上

#### 2.東北全体に浸透

東北各地に住むTSCメンバーを中心に各地で展開。ワクワクの輪を広げていく。

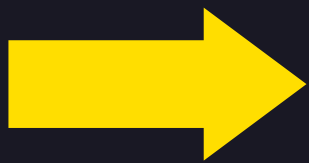


## 5. 今後の展開

### 2. 開催の継続

#### 目的

- 今回参加できなかった方のフォローアップ
- 仙台市の子供たちにコンスタントな宇宙教育の機会を提供
- イベントと街が結びつくことによる規模の拡大



イベントの改善と継続の  
サイクルをまわす

